

令和8年3月6日

教育課程の変更に関するQ&A

県立村上中等教育学校長

Q1 なぜ教育課程を変更するのですか。

- ・生徒の学習状況について、得意・苦手の差が年々大きくなっており、学習を個別に支援していく必要を感じています。対応として「振り返りタイム」の導入等を検討していますが、そのための時間を生み出すために後期課程の教育課程を変更します。全体で一斉に学ぶ場面(授業)を少しだけ減らし、浮かせた時間を個別の支援に振り向けます。

Q2 変更の影響を受けるのは何年生ですか。

- ・今の3年生(22期生)以下の学年を対象に、令和8年度から年次進行で新課程に移行します。教育課程を前期生・後期生で分けて考えたとき、今の4年生、5年生は現行の後期教育課程で既に学び始めているため、変更しません。

Q3 新しい教育課程はどのように変わりますか。

- ・後期課程の授業を学年あたり1単位減らします。詳細は教育課程表をご覧ください。前期課程に変更はありません。
- ・これにより、後期課程生の週当たりの授業が1コマ少なくなり(週33コマ→32コマ)、週5日のうち7限授業が2日、6限授業が3日となります。

Q4 「振り返りタイム」ではどのような活動を行いますか。

- ・「振り返りタイム」は、生徒が自らの学習状況を日常的に振り返り、自己調整を促すことで「自立した学習者」として成長させることを目指しています。
- ・活動内容は大きく2つに分かれ、①教科担当者との面談(指示があった生徒のみ)、②「振り返りシート」を活用した学習状況の振り返り(①以外の全員)となります。
- ・「振り返りシート」はオンライン上に作成され、各自が自分の学習状況を入力します。
 - ① 前日の自宅学習の振り返り
 - ② 宅学時間の入力
 - ③ その日の授業の振り返り
 - ④ 自宅学習計画の検討
 - ⑤ 学習に関する教科担当者への相談(必要に応じて)
- ・入力した内容は担任・教科担当者が確認し、必要に応じて学習に関する助言を返信したり、面談を設定したりします。
- ・詳細は現在検討中で、変更することがあります。

Q5 後期課程の授業時数を減らすことで学力が低下しませんか。

- ・1単位削減すると年間の授業時間数が約35時間減少します。減単の科目は、授業進度や演習量等に影響が出る心配があります。減単対象教科の学習計画を、全学年に渡って少しずつ見直すことにより、影響をできるだけ抑えます。
- ・自宅学習の改善と併せて、全体としては授業減の影響を上回る学力向上を目指します。
- ・後期課程の放課後に余裕ができることにより、生徒会活動や部活動等の放課後の活動がしやすくなる、希望者対象の進学補習が組みやすくなる、6学年での受験指導(面接練習、志望理由書作成、等)がしやすくなる、といった効果も期待されます。